

高齢者の見守りと地域の輪の取組み

事業実績

開催日	毎週火・木・金曜日	実施団体	戸山ハイツ北地区自治会
会場	戸山ハイツ 35 号棟	参加者	10~15名／日

事業の内容

高齢者の見守り活動として、自治会のゴミ集積所へごみ出しに来る高齢者の見守りを行い、あいさつなどの声掛けや情報交換の機会を設けている。さらに、ごみの分別作業や様々な悩み事相談などを通して交流を図るとともに、待ち時間を利用して輪投げの練習を行っている。なお、この取組みは、コロナの収束を機に令和5年春頃から毎週火・木・金の午前7時から午前8時まで実施している。

活動の様子

朝7時に集合し、ごみ出しに来た高齢者にあいさつをすると、粗大ごみの出し方から人間関係等の悩み相談が持ち掛けられる。また、見守り担当以外の人は輪投げの練習や花壇の手入れを行い、ゴミ集積所の掃除等を終え、8時過ぎに解散する。地域の高齢者に加え、通園途中の幼児や母親も輪に加わってくる。さらに、スポーツ大会が近づくと地元の小学生や近隣の方も輪投げの練習をさせてほしいと集まってきて賑わっている。

工夫した点

地域の住民は、高齢者が多いため見守り活動の一環としてスタートしたが、待ち時間等を有効活用する手段として、「せっかく集まったからには輪投げの練習でもしよう」といった気運が高まった。このことにより、高齢者の見守り、健康増進及び地域のコミュニケーションの向上に大いに役立った。さらに、令和7年度のコミュニティスポーツ大会の輪投げ(60歳以上の部)において、10月4日(日)の若松地区大会の優勝に続き、12月14日(日)の中央大会における団体戦優勝に加え、個人戦最多得点賞の快挙へと繋がり自治会が大いに盛り上がった。

改善点
気づいた点等

早朝に行うため、輪投げがボードに当たる音に対する苦情もあったが、地道な活動とコミュニケーションのおかげで自治会の夏祭りの際にも顔見知り効果を生み、多くの方の協力を得られた。また、小さな取組みであっても継続的な地域活動の重要性に改めて気付くことができた。引き続き、この活動を足掛かりとして各種イベントへ参加・協力してもらうための工夫と共助による地域の輪の向上に取り組んでいく。

活動の様子・夏祭り・輪投げの表彰

